

防災講演会 in 高岡市

日 時：令和8年10月17日（土）

13時30分～15時50分（開場 13時より）

会 場：高岡市ふくおか総合文化センターUホール（高岡市福岡町大滝44）

事前の参加申込不要で、どなたでも参加できます。（無料）

近年、わが国、世界において豪雨や巨大地震、火山噴火等に伴う想定を超える規模での自然災害が頻発しており、この先「いつ、どこで起きるかわからない災害」に備える必要があります。

本講演会は、これらの災害のうち「土砂災害－土石流・がけ崩れ・地すべり」に関する現状やこの災害から身を守るための知識や避難行動等、また、被災した地域の現状や復興状況等の防災に関する様々な情報の「学ぶ場」としています。

※ 会場内で防災に関するパネル展示等も行います（13:00～15:30）

13:30 開会挨拶 実行委員長 山崎 列子（立山砂防女性サロンの会 会長）

挨拶 高岡市長 出町 譲

13:40 基調講演「土砂災害に関する防災教育」
（一財）砂防フロンティア整備推進機構 理事長 今井 一之 氏

14:50 報 告(1)「新たな防災気象情報について」
富山地方気象台 調査官 村井 雅浩 氏

15:20 報 告(2)「高岡市からの報告」
高岡市 都市創造部 土木維持課 河川・港湾係長 河 明博 氏

15:50 閉 会



河原田川の斜面崩壊（R6.1能登半島地震）



能登半島地震によるビル倒壊
（輪島市河井町）



令和7年8月豪雨
（高岡市二上地内）

主催：砂防防災講演会実行委員会 共催：高岡市

後援：国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所
国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所
富山県土木部砂防課

協賛：富山県治水砂防協会 富山県建設業協会高岡支部
（一社）富山県測量設計業協会 富山県立山カルデラ砂防博物館

＜実行委員会の構成団体＞

（一社）斜面防災対策技術協会 富山支部
（一社）北陸地域づくり協会 富山支所
NPO法人 富山県砂防ボランティア協会
立山砂防女性サロンの会

NPO法人 富山県防災士会
立山山麓防災・安全対策協議会
立山・神通砂防ボランティア協会（TJSV）

基調講演の講師紹介

今井一之 氏

○役職

一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構
理事長



○略歴等

建設省入省後、中部地方整備局、中村市、松本砂防事務所、新潟県、多治見砂防国道事務所などを経て、国土交通省砂防部長を最後に退官。

在職中から「地域が主役の砂防」(平成28年講演※)を提唱し、地域主体の取り組みとその効果を紹介するとともに、「土砂災害に関する防災教育」を重要な施策の一つとして位置づけ啓発活動を支援するとともに、講演を行ってきました。

※平成28年10月2日「防災講演会in南砺市」で講演

○基調講演概要

土砂災害の仕組みや危険性、ハザードマップ、避難情報の読み取り方を分かりやすく解説し、子どもたちが災害を自分事として捉え、命を守る行動につなげることの大切さを伝えます。学校や地域での砂防・防災教育の充実に役立つ内容になります。

報告会の紹介

◆報告(1) 富山地方気象台 調査官 村井 雅浩 氏



○報告内容

令和8年5月29日より、気象台が発表する注意報・警報などの防災気象情報が大きく変わり、情報名称に「警戒レベル」を付すことにより、大雨等の際にとるべき避難行動の判断が一層わかりやすくなりました。今回はこの改善点についてお話しします。

○報告者の略歴

昭和61年、気象庁採用。気象庁本庁のほか、新潟、金沢等の地方気象台に勤務し、令和8年4月より現職。

主に国や県などの防災関係機関との連携対応や防災気象情報の普及・啓発に従事。令和6年の能登半島地震による災害発生後には、気象庁防災対応支援チーム(JETT)の一員として現地自治体で防災活動の支援を行いました。

◆報告(2) 高岡市都市創造部土木維持課 河川・港湾係長 河 明博 氏



○報告内容及び報告者の略歴等

2026年4月から、現職。

「今すぐ逃げる」ために、土砂災害の危険性とハザードマップの活用方法、いざという時の避難行動について、お話ししたいと思います。さらに、能登半島地震から見た避難所の課題と改善策について紹介します。